

# Weekly Report

## 山梨中央ロータリークラブ

Rotary International District 2620  
Yamanashi Chuo Rotary Club 2017-2018

会長 田中 雅貴 副会長 林 美喜枝  
幹事 原田 哲 副幹事 田中 雅承  
会計 笹本 哲翁 会報 小池 章治

事務所 〒409-3812 山梨県中央市乙黒158-2  
(山梨ビジネスパーク(株)カルク内)

TEL 055-273-5344 URL <http://yamachuo-rc.net/>  
FAX 055-273-8010 E-mail [rotary@yamachuo-rc.net](mailto:rotary@yamachuo-rc.net)

【例会日】 毎週金曜日 12:30~13:30  
【例会場】 (株)カルク (055-273-5344)

Rotary 



ロータリー：  
変化をもたらす

2017~2018 R.I会長  
イアン H.S. ライズリー  
第2620地区ガバナー 松村 友吉

2017年 11月 17日 第1789回例会

### 本日のプログラム

#### ガバナー補佐 クラブ訪問(2)

#### 会長挨拶

##### 「二千円札と沖縄とのゆかり」

会長 田中 雅貴

みなさんこんにちは。我がロータリークラブ最大のイベントである「ふるさとを描く子ども絵画展」が、皆様のご協力のもと今年も無事終わることができました。ありがとうございました。山梨中央銀行本店への展示もありますので、引き続きご協力よろしくお願ひします。

季節もいよいよ冬らしくなり、朝晩は非常に冷え込むようになりました。沖縄ではまだまだ、クーラーがないと寝られない日もあります。

ところで皆さんは二千円札を持っていますか？恐らく本土ではほとんど見ることはないかと思ひます。そこで本日は二千円札についてお話ししたいと思ひます。

Wikipediaによると、

「第26回主要国首脳会議(沖縄サミット)と西暦2000年(ミレニアム)をきっかけとして、1999年(平成11年)に当時の小渕恵三内閣総理大臣の発案で、2000年(平成12年)7月19日に森内閣の元で発行された。日本銀行法第46条および第47

条、並びに日本銀行法施行令第13条の規定により発行された通常の日本銀行券であり、記念紙幣ではない」

とありました。

沖縄サミットの記念に発行されていますが、通常の日本銀行券です。そして絵柄は、沖縄にちなんで首里城の守礼門が描かれています。ちなみに裏は、源氏物語絵巻第38帖「鈴虫」の絵図と詞書(ことばがき)、および作者の紫式部の肖像です。

沖縄では、二千円札で買い物や飲食をすると割引がある等、二千円札の利用促進として様々なことが行われています。

しかし実際は沖縄でもあまり見ることはありません。もしかしたらいずれ廃止になるかもしれませんので、一枚ぐらい手に入れておいてはいかがでしょうか。

今日の会長挨拶は以上です。

#### 幹事報告

幹事 原田 哲

1. 今年度の最大事業「子ども絵画展」が無事終了し、ご苦労様でした。

松村友吉ガバナー事務所より「ガバナー一月信No.5」と、ロータリーの友事務所より「ロータリーの友11月号」が届いておりますので、配布致しました。

2. 次回、11月17日(金)の例会は齋藤ガバナー補佐「クラブ訪問例会」ですのでお知らせ致します。尚、11月24日(金)の例会は10月22日(日)の表彰式例会の「振替休会」と成ります。
3. 松村友吉ガバナー事務所より、11月のロータリーレートの報告がありました。1ドル114円とのことです。
4. 例会変更のお知らせ

☆甲斐シティーロータリークラブ☆

11月22日(水)の例会は「花植え例会」の為 時間・会場の変更

点 鐘：午後12時

会 場：「甲斐市指定花壇」

11月29日(水)の例会は「お囃子鑑賞例会」の為 時間・会場の変更

点 鐘：午後6時30分

会 場：「祭り囃子」(甲斐市)

☆南アルプスロータリークラブ☆

12月27日(水)の例会は「環境美化例会」の為 日時・会場の変更

日 程：11月22日(水)

点 鐘：午後12時30分

会 場：「魚覚」

(後、南アルプス警察署へ移動)

(警察署玄関前のプランターの

花植作業)

12月27日(水)は「振替休会」

**前回の例会記録**

**第1788回 出席報告**

会員数	免除	出席者	欠席者	出席率	メイクアップ	前回の修正出席率
11名	0名	7名	4名	64%	3名	100%

**届出欠席者** 田中 雅貴君 遠藤 一郎君  
林 美喜枝君 樋貝 浩久君

**届出失念者** なし

**出席免除者** なし

**メイクアップ** 田中 雅承君 林 美喜枝君  
樋貝 浩久君

**ビジター** なし

**ニコニコ BOX**

● 枯葉が気になります今日この頃です。

田中 雅承

● 前回は失礼しました。 小池 章治

**★ 紙上卓話 ★**

**「母が喜んでくれる生き方(3)」**

稲岡 春瑛住職

—— 親孝行したいときには ——

不思議なご縁で私は東京の寺院に嫁いたのだが、毎月墓参りを欠かさず、毎朝夕、仏壇の前で読経するほど信心深かった母は、このご縁を大変喜んだ。寺の住職であった夫は、私が多くを語らなくても思いを汲み取って、九州から母を呼び寄せて寺に同居することを勧めてくれた。

私はやっと母に親孝行できることを喜び、母も寺での生活を楽しみにしていた。ところがあろうことか、「少しずつ荷物を整理するね」という電話を最後に母は脳内出血で倒れ、言葉も出せず、自分で動くこともできない身体になってしまった。そんな母を一人九州の病院に置いておくわけにもいかず、ストレッチャーのまま飛行機に乗せて東京に搬送したのだった。寝たきりで四年間、寺の離れで自宅介護の後、母は旅立ってしまった。

人生は理不尽だ。不公平だ。頑張った人は報われる、幸せになれる、そう思うからこそ苦勞もできる……。そう信じてきたのだが、母は報われないまま人生を終えてしまった。母の人生は何だったのか。何ら報われることなく逝った母が哀れで、一人になると涙に暮れる日々が続いた。

三回忌をまもなく迎えようとする日、一人で涙ぐんでいる私に、突然母の声が聞こえた。「泣いたらつまらんよ。あんたの笑顔が見たかとよ。私のために不幸にならんで……。あんたの幸せだけが私の願いばい」。子供のころ、泣きじゃくる私を満面の笑みであやしてくれたように……。

(続く)

**次回のプログラム 12月1日(金)**

**卓話 出席・親睦委員会**